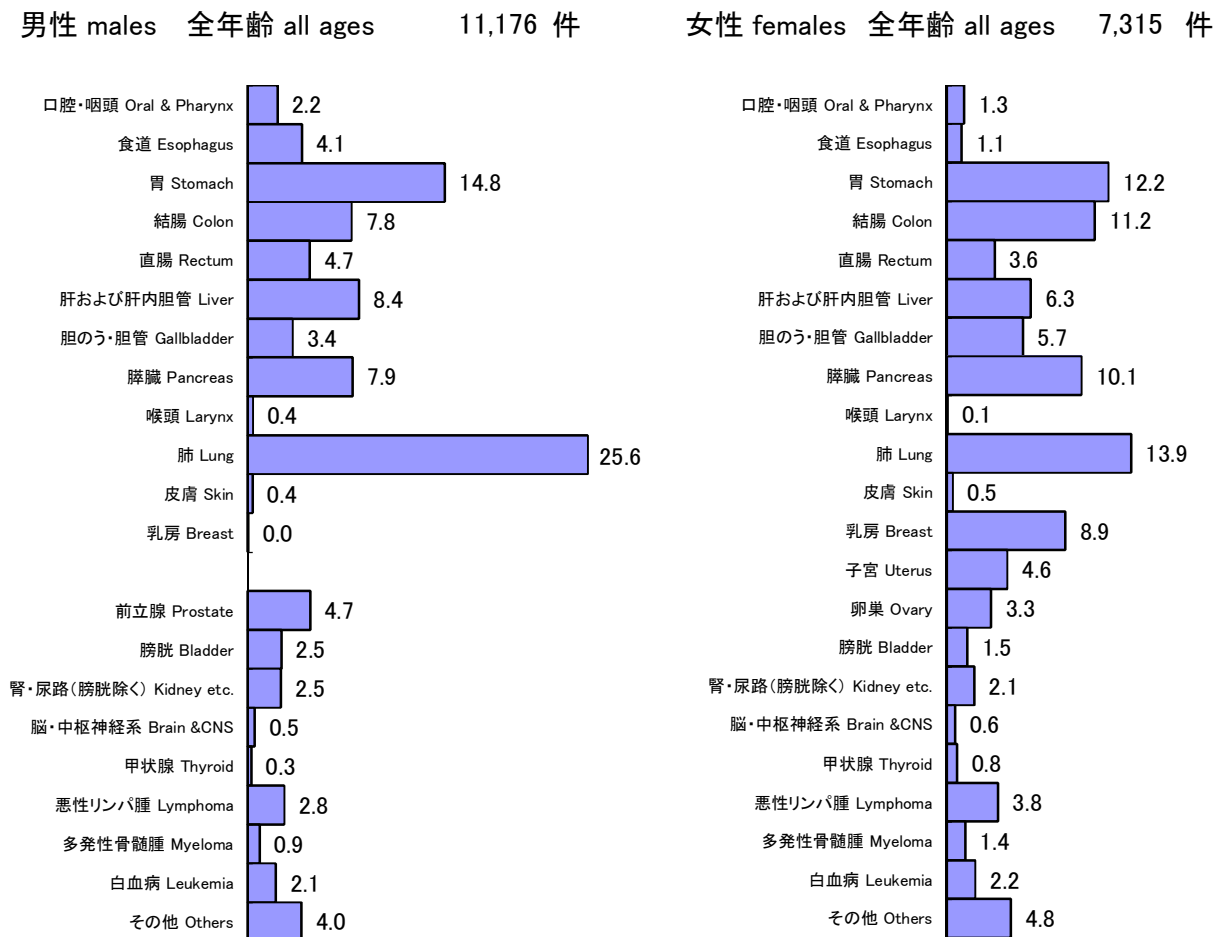


3. 死亡の状況 Cancer Death in 2013

2013年に愛知県において、男性11,176人、女性7,315人、合計18,491人の方が、がんを原因として死亡された。部位別では、男性で最も死亡数の多い部位は肺であり、胃、肝および肝内胆管、膵臓と続く。女性では、肺が最も多く、胃、結腸、膵臓、乳房と続く。罹患率と比べると、男性の前立腺がんや女性の乳がんは、罹患率が比較的高かったが、死因としてそれほど多くないことがわかる(図9)。

図9 部位内訳(%) (表9から作成) Figure9 Percentage of Cancer Death by site



年齢別にみたがんの死亡 Age-Specific Cancer death

男女ともに、愛知県で2013年にがんで死亡された方の約81%が65歳以上の方であった。ほとんど全ての部位のがんは、年齢が高くなるほどかかりやすくなるため、がんによる死亡者も高齢者が多い(図10)。

40-54歳のがんによる死亡は、男性では肺がん、女性では乳がんが多い。39歳以下のがんによる死亡は、男性では胃がん、肺がん、女性では乳がん、子宮がん、白血病が多い。主ながんの年齢階級別死亡率をみると、胃がんは男性の70歳以上と女性の80歳以上、結腸は男性の75歳以上と女性の80歳以上、肺がんは男性の65歳以上と女性の80歳以上において、それぞれ千人に1人以上の死因となっている(図11)。

図10 年齢別内訳(%) (表10から作成)
Figure 10 Number and Percentage of Cancer death cases

年齢階層 Age group	14歳以下	15-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
男性 Males	14	64	1,930	3,418	5,750	11,176
女性 Females	4	89	1,348	1,569	4,305	7,315

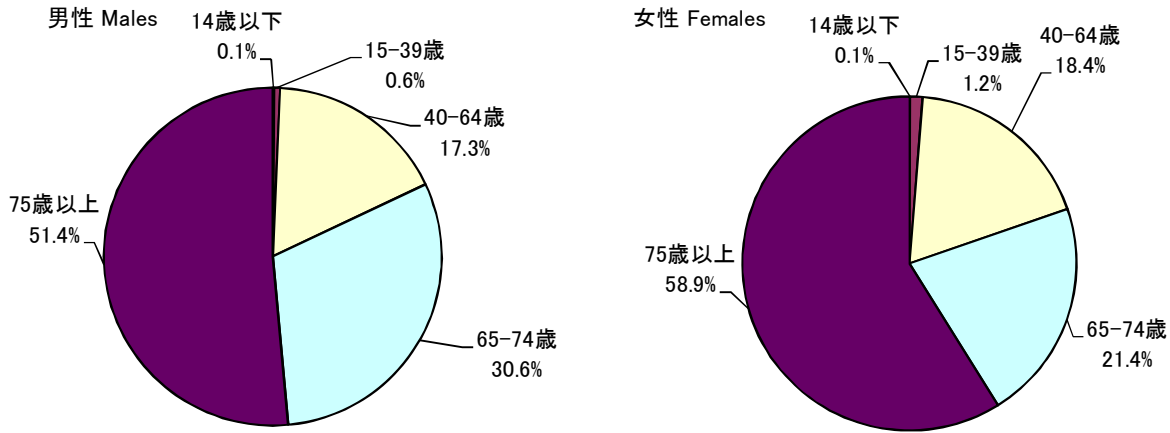


図11 部位別年齢階級別死亡率:人口10万対 (表11から作成)
Figure 11 Age-Specific Death Rates by Cancer site

